

6 こまがたじんじゃほんでん 駒形神社本殿 (附 棟札 4枚)



指 定 国重要文化財 昭和24年 5 月30日  
 所在地 塚 原  
 所有者 駒 形 神 社



創建年代不詳。祭神として騎乗の男女2神像を安置するので、牧に関係する神社と推定される。望月牧の東の護りとする説もあるが、<sup>まき</sup>根井氏の私牧の守護社であった可能性もある。

現本殿は文明18年（1486）佐久郡耳取村耳取城（鷹取城）主・大井新左衛門尉政継が再建したものと伝えられ、形式手法からみてもそのころの再建と考えられる。

各時期の修理範囲は明確でないが、江戸時代初期のころ、いったん解体修理をし、その後も部分的な修理の跡がみられる。近年とくに腐朽が甚だしくなったので、昭和43年（1968）10月復元工事に着手し同44年（1969）9月30日完了した。

構造および形式

一間社流れ造り 榎葺き 東面  
 基礎 柱下自然石礎石 土台縁東下切り石 地覆い土台  
 軸部 身舎 円柱（床下八角づくり）